

住まいのリフォームについて アドバイスします！

～令和7年度 住まいのアドバイザー派遣の募集案内～

1 住まいのアドバイザー派遣の概要

住宅のリフォームを検討する市民の皆さんのご自宅に、中立的な立場の専門家である「住まいのアドバイザー」（以下「アドバイザー」という。）を派遣し、**個々の居住ニーズや身体状況等に応じた適切な助言を行う「広島市住まいのアドバイザー派遣」を実施します。**

2 対象となる方

広島市内にお住まいの方で、次の①と②の両方に該当する方です。

- ① 自らが居住する住宅の増改築（減築を含む）、改修などの工事（以下「リフォーム」という。）を行うにあたって、専門家からの助言を希望する方
- ② 現地における当該住宅や敷地の状況などを踏まえた助言が適切と判断される方

3 助言の範囲

アドバイザーが、皆さんのご自宅を訪問し、相談に応じて、次の①から③について助言します。

- ① バリアフリー化、省エネルギー化、耐震化など、住宅の性能を向上させるためのリフォーム
- ② 年代や世帯構成の変化等に対応するためのリフォーム
- ③ リフォームについての基本的な注意事項や支援制度等

※ なお、既に行われた工事のトラブルについては助言の対象としません。

4 アドバイザー派遣の概要

- 派遣日：令和7年6月初旬頃から、広島市が指定する日（調整可能）
- 派遣時間：最長2時間程度
- 派遣件数：15件
- 費用等：無料

アドバイザー派遣の終了後に、アンケート調査に回答していただきます。

5 申込み方法

「アドバイザー派遣申請書」に記入の上、持参、郵送FAXまたは電子メールによりお申込みください。

申請書は、広島市ホームページからもダウンロードできます。

「住まいのリフォームについてアドバイスします」で検索
広島市ホームページ

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/sumai/1021342/1011292.html>

QRコードからも
アクセスできます！



○申込み先

（持参の場合）広島市役所本庁舎5階 住宅政策課

（郵送の場合）〒730-8586 （住所不要） 広島市役所都市整備局住宅政策課 宛

（FAXの場合）082-504-2308

（電子メールの場合）jutaku@city.hiroshima.lg.jp

※ FAXの場合、送付後に下記お問い合わせ先に**確認の電話**をお願いします。

○受付期間

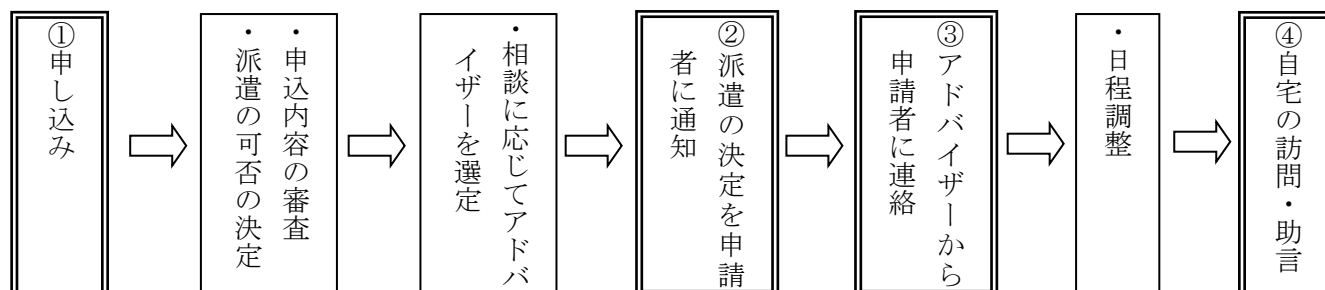
令和7年5月15日（木）から令和8年1月30日（金）午後5時まで（必着）

＊ 持参による申込みの受付は、土曜日、日曜日、祝日を除く午前9時から午後5時までです。

＊ 選定方法は先着順とします。

＊ 申し込み後、アドバイザー派遣の可否について通知します。

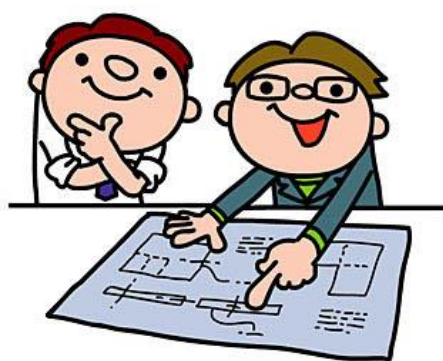
6 申請から派遣までの流れ



7 その他の注意点

アドバイザーが、営利目的の助言などを行った場合は、広島市にお知らせください。

その他、ご不明な点等ありましたら、下記の【 お問い合わせ・申込み先 】までご連絡ください。



【 問合せ・申込先 】

〒730-8586 広島市中区国泰寺町一丁目6番34号（広島市役所本庁舎5階）

広島市 都市整備局 住宅部 住宅政策課

電話 082-504-2292 ・ FAX 082-504-2308

電子メール jutaku@city.hiroshima.lg.jp

アドバイザー派遣申請書

令和 年 月 日

広島市長様

住まいのアドバイザーの派遣について、広島市住まいのアドバイザー派遣実施要綱第 6 条第 2 項の規定により、申請します。

フリガナ 氏名						
住所	電話番号 ー ー 電話番号（日中の連絡先） ー ー					
住宅概要	構造		階数		築年数	
自宅で助言を受けたい内容 （特に、現地における助言が必要な理由を詳しく記入してください。）	(記載できない場合は別に添付してください)					

アドバイザー派遣申請書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

広島市長様

住まいのアドバイザーの派遣について、広島市住まいのアドバイザー派遣実施要綱第 6 条第 2 項の規定により、申請します。

フリガナ 氏名	ヒロシマ イチロウ 広島 一郎					
住所	〒730-8586 広島市中区国泰寺町一丁目6番34号 電話番号 082-〇△×-□〇△× 電話番号（日中の連絡先）090-〇△×□-〇△×□					
住宅概要	構造	木造	階数	2階	築年数	40年
自宅で助言を受けたい内容 （特に、現地における助言が必要な理由を詳しく記入してください。）	（記載できない場合は別に添付してください） 同居している母親の足腰が弱くなってきたため、車イスでも生活できる住宅にリフォームしたいと考えています。 また、子供が3人とも独立して、家に住んでいる家族が6人から3人に減りました。物置状態でほとんど使われていない子供部屋を活用して、暮らしやすい家にリフォームしたいと考えています。 高齢で移動することが難しい母親の体の状態と、築30年以上で、家の中の段差が多く、廊下が狭い自宅の状態を実際に見てもらってから、できるだけ具体的な助言してもらいたいので、アドバイザーの派遣を希望します。					

携帯電話や勤務先など、日中の連絡先を記入してください。

家族構成や家族の身体状況、住宅の状況がわかるように、できるだけ詳しく記入してください。